

## 第1回

### 国語世論調査

※2022年10月の毎日新聞記事を元にした文章です。

校閲し、直すべきところを指摘してください。

調査時期は 2022年2〜3月

著

たろ

「半端ない」「ぶっちゃけ」という新しい表現について気にならな  
いとする人が約6割に上ることが、  
文化庁が9月30日に公表した20  
21年度の「国語に関する世論調  
査」で明らかになった。いずれも  
匿名人を介して注目され、メデイ  
アで繰り返し使われた影響などで  
一般化したとみられる。

調査は、国語に関する意識や理  
解度を調べるために1995年度  
から毎年実施。今回は22年1月に  
16歳以上の男女6000人を対象  
に調査票を郵送し、3579人(回  
答率59.7%)から回答を得た。  
新しい表現や文法上は不正確な言  
葉を使うかどうかなど尋ねた。

を

度?

H23

「中途半端でない」ことを指す  
「半端ない」は、60.2%が「気  
にならない」と回答。「使うこと  
がある」と答えたのは46.4%で、  
11年調査の20.1%から倍増した。  
「正直なところ」を意味する「ぶ  
っちゃけ」は、「使うことがある」  
が41.4%、「気にならない」が  
55.7%だった。

「半端ない」は、18年のサッカー  
ワールドカップのロシア大会  
で活躍した大迫勇也選手を称賛す  
る表現として注目されたこともあ  
り、文化庁はこの10年ほどで使わ  
れる機会が普及したと分析。「ぶ  
っちゃけ」については、俳優の木

増え

?

もしくは  
「使われる機会が」  
を比?

哉

村拓也さんがテレビドラマで使うフレーズなどとして一般化したとみている。

20日2  
24.4%なのは「あの人みたく」

能

新しい表現でも「使うことがあ  
る」と答えた人の割合が低かったのは、「そうではなくて」を意味する「ちがくて」の24.4%、実体などを分かりやすく示す「見え  
る化」の27.6%など。「ちがく  
て」は、60.5%が「気になる」と答えている。文化庁の担当者は「時  
間ともに認知されて定着する言葉  
がある一方で、表現によっては受  
け入れがたい人が多い場合もある  
のだろう」と話している。

言葉

調査では、本来と異なる意味で使われている言葉の使用状況も尋ねた。「一時しのぎ」を意味する

「姑息こそく」を正しい意味で使ってい

たのは17.4%にとどまり、73

9%は「ひきょうな」という意味

で捕らえていた。「割愛する」は

本来の「惜しいと思うものを手放

す」と理解していた人が23.7%

捉

本来の

一時しのぎが「正しい」  
ひきょうは「正しくない」と  
断言してよい？  
文化庁も「本来の意味と  
されてきたもの」

だったのに対し、65.3%は「不  
必要なものを切り捨てる」との意  
味で使っていた。

79日7  
?

このほか、「大きな声を出すこ  
と」という意味の「声を荒らげる」  
を、本来の「あらうげる」と読ん  
だのは12.2%で、17.9%は「あ  
らげる」と解答。「ひっきりなし  
に続くさま」を表す表現は、辞書  
通り「のべつまくなし」としたの  
が41.9%だったのに対し、「の  
べつまくなし」と答えたのが27.  
1%となった。

新型コロナウイルスの感染拡大  
に伴って使われるようになった言  
葉や表現では、「おうち時間」は  
69.1%、「黙食」は64.9%が  
そのまま使うのがいい「だった。